



【補足資料3】神戸市立工業高等専門学校 応用化学科が養成したい情報人材

▶ 数理・データサイエンス・AI教育プログラム構成科目

数学Ⅰ，数学Ⅱ，確率・統計などの数学科目や情報基礎を**情報人材育成のための基礎科目**として位置付けている。さらにそれを受けて情報処理Ⅰ，情報処理Ⅱなどの科目を応用科目として配置することで，より発展的な内容を理解した学生を育成する。

▶ 数理・データサイエンス・AI教育プログラム以外の科目

応用化学科では，数理・データサイエンス・AI教育プログラム以外でも情報人材育成のためのカリキュラムを実践している。例えば，情報処理Ⅰは数理・データサイエンス・AI教育プログラムの該当科目であるが，モデルカリキュラムで示された内容以外でも**化学構造式を描画するソフト**の演習などを行っている。また，応用化学実験Ⅱでは**量子化学計算の演習**や**量子化学計算による物性予測**などを行っている。このように，数理・データサイエンス・AI教育プログラムを構成する科目以外でも**化学を専門とする学生に合った情報技術**を習得できるカリキュラムを用意している。

▶ 科目間の関連・連携

数理・データサイエンス・AI教育プログラムを構成する科目やそれ以外の科目が相互に関係し合うことで，情報技術をもった化学を専門とする学生を育成するカリキュラムを用意している。さらに卒業研究では専門的なテーマに取り組む際にそれまでに得た内容を活用することで，実践的な学習を行う。このようなカリキュラムを通して**化学と情報技術をかけあわせることができる人材**を育成する。

